



アジアカップ（コンチネンタルカップ）かぐら大会
スノーボード競技・種目スノーボードクロス
開催要項



- 1 主催 公益財団法人全日本スキー連盟
- 2 主管 公益財団法人新潟県スキー連盟、かぐらクロス実行委員会
- 3 公認 国際スキー・スノーボード連盟、公益財団法人全日本スキー連盟
- 4 後援 湯沢町、一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構
- 5 協力 かぐらスキー場、湯沢町スキー連盟
- 6 会期 2026年3月21（土）～3月22日（日）
- 7 開催地 新潟県湯沢町 かぐらスキー場 みつまたエリア
- 8 実施要項

(1) 競技種目

男子スノーボードクロス、女子スノーボードクロス

(2) 日程

期日	開始時間	種目・表彰式等	会場
3月21日（土）	08:00～08:30	割引チケット販売	みつまたロープウェイ山麓駅付近
	全日本終了後	受付	スタートエリア
	受付後	公式トレーニング	大会コース
	17:30～	TCミーティング	リモート（予定）
3月22日（日）	07:30～08:15	受付	みつまたロープウェイ山麓駅付近
	09:00～09:15	インスペクション	大会コース
	09:20～10:00	公式トレーニング2本	大会コース
	10:30～	予選	大会コース
	12:30～	決勝	大会コース
	15:00～	表彰式	みつまたロープウェイ山頂駅付近

- 9 競技規則
 - (1) ドローについてはコンピュータードローとする
 - (2) フッ素入りワックスの使用を禁止とするこの要項に定めた以外はFIS競技規則及びSAJ競技規則最新版による

- 10 参加資格
 - (1) 2025/2026 シーズン SAJ 会員登録および競技者登録完了者
 - (2) FIS 競技者登録完了者
 - (3) 未成年者（満18歳未満）の出場については保護者の同意が得られていること
 - (4) SAJ 安全会、スポーツ傷害保険またはこれに準ずる傷害保険に加入している者
 - (5) 2025年12月31日付で参加資格を全て完了している満15歳以上の者

- 11 申込み方法 エントリープラスで行う <https://entryplus.jp/index>
- (1) 申込期間 2026 年 2 月 20 日～3 月 8 日
 - (2) 申込締切日 2025 年 3 月 8 日
 - (3) 申込先 エントリープラス
 - (4) 参加料 10,000 円（エントリープラス支払期限を過ぎた場合は 15,000 円）
- ※ 郵送等は受け付けない
- ※ いかなる場合も返金を行わない
- ※ 期限後は saj@kzf-inc.com にメールしてください
- 12 受付 大会本部は 2026 年 3 月 18 日ごろ〒949-6211 新潟県南魚沼郡湯沢町三俣 742 かぐらスキー場内みつまたスノーボードスクールに開設予定。
- (1) 大会当日受付や選手割引チケット販売は、みつまたロープウェイ山麓駅付近
- 13 表彰 全日本スキー選手権開催規程に基づき以下の通り表彰する
- (1) 男子 1 位から 6 位
 - (2) 女子 1 位から 6 位
- 14 傷害措置 参加選手がトレーニング中、又は競技中に何らかの傷害を受けた場合は、主催者側が応急処置を行うが、以後は各自の責任において処理すること。
- 15 その他
- (1) 宿泊に関する事項は以下より確認すること
- ※越後湯沢観光ナビ URL: e-yuzawa.gr.jp
- ※かぐら・みつまた観光協会 URL: <https://www.kagura-mitsumata.ne.jp/>
- (2) 選手割引リフト券は受付で販売する（現金のみ）
- ※カードや電子マネーでリフト券購入は通常窓口で購入してください
- (3) 公式掲示は競技会場スタートエリアに置く
 - (4) 大会コース内では公式トレーニング用ビブまたは競技用ビブを必ず着用すること
 - (5) クラッシュヘルメットを着用のこと。着用しない場合はスタートさせない
 - (6) TC ミーティングにはチームキャプテン及び保護者が必ず出席する事。出席できない場合は選手若しくは代理人が出席すること
 - (7) 取得した個人情報、大会運営に関する業務以外の目的では使用いたしません
 - (8) 返金が発生した場合は振り込みにて対応する
 - (9) LINE 公式アカウントに登録お願いします：昨年同様 → <https://lin.ee/U8LIRbL>



16 問合わせ

かぐらクロス実行委員会
SBX 担当：福島 大造
Mai : saj@kzf-inc.com

17 スポーツ界における暴力行為根絶宣言

本連盟及び本競技会は「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」に賛同します。

<https://www.joc.or.jp/news/detail.html?id=2947>

<https://www.joc.or.jp/news/download.php?id=2947&fn=bouryokukonzetsusengen%28yoko%29.pdf>

18 全日本スキー選手権開催規程

[http://www.ski-japan.or.jp/wp-](http://www.ski-japan.or.jp/wp-content/uploads/310%E3%80%80%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E9%81%B8%E6%89%8B%E6%A8%A9%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%80%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf)

[content/uploads/310%E3%80%80%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E9%81%B8%E6%89%8B%E6%A8%A9%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%80%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf](http://www.ski-japan.or.jp/wp-content/uploads/310%E3%80%80%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E9%81%B8%E6%89%8B%E6%A8%A9%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%80%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf)

19 アンチ・ドーピング

- (1) 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール（ドーピング検査対象）大会です。
- (2) 本競技会参加者（未成年者を含む。以下同じ。）は、競技会にエントリーした時点で JADA 規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。（未成年者の同意書については(4)を参照）
- (3) アスリートには教育を受ける権利があります。

「全日本スキー選手権大会」の出場前にしておくべきアンチ・ドーピングルール

以下の行動を自信をもって行えますか？
ひとつでも「YES」と答えられないものがあった場合は、
下記URLもしくはQRコードから教育特設ページを必ずご確認ください

1. 薬を使用する前に、Global DROで禁止物質を検索することができる
2. Global DROの結果や、専門家に相談した履歴を保管できる
3. TUEのルール、取得するための4つの条件を医師に説明できる
4. TUE申請書を不備なく準備し、適切な申請先に申請できる
5. ドーピング検査時の権利と責務を理解し、行動できる
6. サプリメントのリスクを正しく説明できる



禁止物質を検索
⇒確認⇒保管



TUEを
事前に申請



自信をもってドー
ピング検査に対応



サプリメント使用
のリスクを確認



**「全日本スキー選手権大会」
教育特設ページ**



教育に関する国際基準において、ドーピング・コントロールの前に教育を受けることは原則として明記されています。以下のサイト、教材においてアンチ・ドーピング教育とスポーツの価値教育を受けたうえで、アスリートは本競技会に参加して下さい。

https://www.realchampion.jp/who/national_outline/?utm_source=ski&utm_medium=youkou&utm_campaign=202312ski

- (4) 本競技会に参加する未成年の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。
なお、親権者同意書フォームは JADA のウェブサイトよりダウンロードができます。

<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>

(シクミネットでの競技者登録時にアップロードした同意書でも代用を可とします。)

未成年の競技者はドーピング検査の対象となった際に、当該同意書を担当検査員に提出してください。
なお、親権者の同意書の提出は未成年時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、既に提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

- (5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- (6) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- (7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については、JADA ウェブサイトにて確認してください。<https://www.playtruejapan.org/>